標茶町女性団体連絡協議会機関紙
女 かがたらい
第179号　平成28年10月１日
標茶町女性団体連絡協議会
発行責任者　会長　千葉　博子　標女連広報委員会

エプロンピックに参加して

山口紀子

7月18日の朝、エプロンピックへの参加者を乗せるバスが開発センターに到着しました。町内各地域から集まった大人51人と子ども6人が2台のバスに乗り込むと、網走市よこやま果樹園へと出発しました。空は曇っていますが、私たちの心と顔は期待でいっぱいです。バスの中では隣近所や久しぶりに会う人々の間で、おしゃべりが絶えませんでした。

果樹園は広く、一番奥のさくらんぼの木が見えないほどでした。赤や黄色のカラフルなさくらんぼは、私たちの手で摘み取られると、次々におなかや籠へと入っていきます。酸っぱい実もありましたが、甘い実の木を見つけては互いに声を掛け合い、さくらんぼ狩りを楽しみました。

さくらんぼ狩りの後は、お待ちかねの昼食バイキング。場所はあばしり湖鶴雅リゾートでした。ホテル特有のゆったりとした雰囲気の中に、たくさんの料理やデザートが並んでいました。さくらんぼ狩りでお腹は満たされていたはずですが、気が付けば次から次へと料理を運んでいる自分がいました。

帰路は道の駅メルヘンの丘めまんべつでバラを観賞し、野菜やお土産を買いました。その後、美幌峠を眺め、弟子屈の道の駅に寄り標茶に到着しました。

さくらんぼ狩りやホテルバイキングは楽しく、大勢での遠出でワクワク気分の中、リフレッシュすることができました。計画された役員の皆さん、ありがとうございました。

子どもの夢を育てるまつりに参加して

島田まさ子

7月24日は少々肌寒いお天気でしたが、軍馬山の麓には子どもたちの元気な声が広がりました。標茶風太鼓の演奏は、長い曲にも関わらず、息が合っていて胸にドンドンと響き迫力がありました。日々の練習の積み重ねがあるからこその、素晴らしい演奏だと感じました。

私たちのテントではアイスキャンディーと揚げたてドーナツ、いももちを販売しました。事前にいろいろ策を練ったメニューです。甘くておいしいスイーツは人気でした。

思い起こせば、我が子たちもこのお祭りを毎年楽しみにしていましたし、大人になっても記憶に残っているようです。お財布に優しい売店が並び、子どもたちはもちろん、子育て中の親御さんも一緒にゆったり楽しめる、手作り感たっぷりのイベントです。今回は、お手伝いする側として参加ができて良かったです。

忙しい中、準備から最後の後片付けまで参加された皆さん、お疲れさまでした。

平成28年度 男女平等参画標茶集会

日時　11月20日(日)、午前10時
※受付は午前９時30分から
会場　開発センター
内容　講演「昔と今の子育て（子どもたちとインターネット利用の危険性について）
講師　北海道教育庁釧路教育局社会教育指導班　柴田主査

全道女性大会に参加して

標女連会長　千葉博子

8月27日に開催された第67回全道女性大会兼第63回渡島管内女性大会に参加してきました。会場は森町で、標茶から10時間ほどかかりました。

大会は「心豊かな地域社会づくりを～女性団体活動を今こそ～」をテーマに行われました。午前の講演は、落語家で大阪青山大学健康こども学科客員教授の桂花團治さんによる「人が輝けば町が輝く」という演題で「笑いは緊張をほぐし心を緩和させる」「笑いのツボを心得ておくと、今の世の中、人生楽しくなること請け合い」「張り詰めた気持ちがほどけた時、笑うといい薬になる」「人とのコミュニケーションをつなぐ笑い、そして今、笑いが健康にいい効果を発揮するので、笑いましょう」とコミカルに話され、会場は笑いの渦に包まれました。

昼休みのアトラクションは「濁川越中神楽（にごりがわえっちゅうかぐら）」という民族芸能が披露され、楽しく見させていただきました。午後は函館美術館副館長の芳村桐子さんによる「これからの女性団体活動に期待すること」という演題による講演でした。自身が行っているアートコミュニケーションの取り組みとその可能性、そして、その輪を広げていく中で、女性団体の活動に期待することなどが熱く語られました。私たちは地域の中で、どういう活動を広げていくべきかを考えさせられました。

今回の大会は、釧路管内から29人、標茶から5人、全道から600人が集まる活気のある集会となり、大いに学ばせていただきました。来年札幌市で行われる全道大会は、釧路管内の参加取りまとめ当番が標茶なので、心して取り組んでいきたいです。

会の動き

予定

■10月5日…役員会
■10月下旬…釧路管内男女平等参画集会（厚岸町予定）
■11月20日…男女平等参画標茶集会